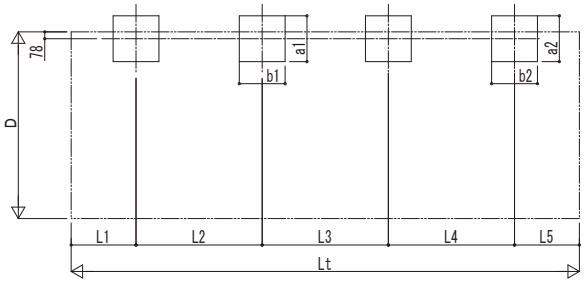
■基礎配置図



■基礎寸法表

間口呼称	奥行呼称	独立基礎 地耐力(kN/㎡) 30 a1・b1	独立基礎 地耐力(kN/㎡) 30 a2・b2	独立基礎 地耐力(kN/㎡) 50 a1・b1	独立基礎 地耐力(kN/㎡) 50 a2・b2	独立基礎 地耐力(kN/㎡) 100 a1・b1	独立基礎 地耐力(kN/㎡) 100 a2・b2	土間コンクリート考慮基礎 地耐力(kN/㎡) 30 a1・b1	土間コンクリート考慮基礎 地耐力(kN/㎡) 30 a2・b2	土間コンクリート考慮基礎 地耐力(kN/㎡) 50 a1・b1	土間コンクリート考慮基礎 地耐力(kN/㎡) 50 a2・b2	土間コンクリート考慮基礎 地耐力(kN/㎡) 100 a1・b1	土間コンクリート考慮基礎 地耐力(kN/㎡) 100 a2・b2
21	29+29	700	700	550	550	500	500	500	500	500	500	500	500
	36+29	800		650		550							
	36+36		800		650		550						
	43+36	900		750		600							
	43+43		900		750		600						
	51+43	950		800		650							
	51+51		950		800		650						

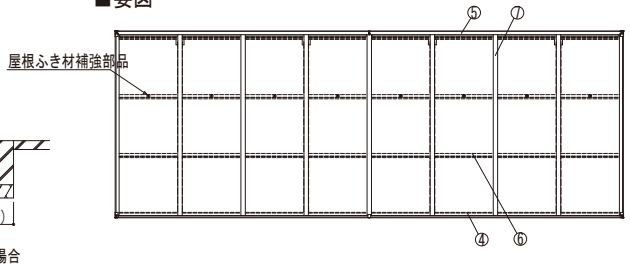
・本体柱の基礎と車止めの補助柱の基礎と一体になる場合があります。

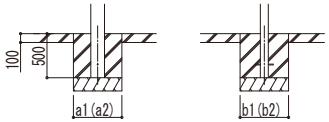
■商品寸法表

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	Lt	L	Lj	L1	L2	L3	L4	L5	H	H1	H2	H3
21	29+29	20	2118	2040.1	5768	3620	2148	810	2000	1327	1074	557	2000	2119.5	2202.6	2403.4
	36+29				6484		2864			1506	1432	736				
	36+36				7200		3580			1580	2000	810				
	43+36				7916	4336		918	2500	1688						
	43+43				8632		4296			1796	2500	918				
	51+43				9348	5052		1076	2900	1954						
	51+51				10064		5012			2112	2900	1076				

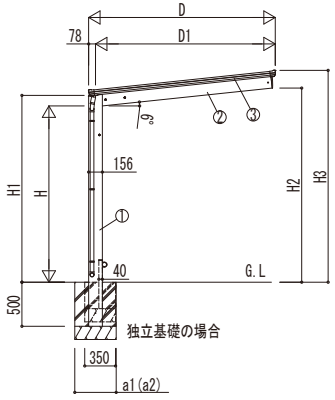
・H=2500(H=2800)の場合、H,H1,H2,H3に500(800)足した寸法にしてください。
・n連結時のLt寸法は、Lt=L(単体)+Lj(奥行連結)×(n-1)となります。
・L3寸法はL1(柱芯～屋根端部)+L5(柱芯～屋根端部)-40となります。

■姿図

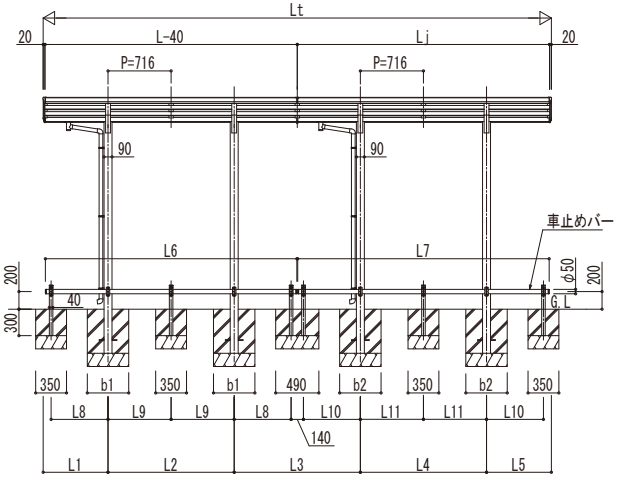




土間コンクリート考慮基礎の場合



独立基礎の場合



■車止めバー寸法表

間口呼称	奥行呼称	L6	L7	L8	L9	L10	L11
21	29+29	2854	2854	646	-	646	-
	36+29	3570		720	1000		
	36+36		3570			720	1000
	43+36	4286		828	1250		
	43+43		4286			828	1250
	51+43	5002		986	1450		
	51+51		5002			986	1450

■主要部材材質一覧

主要部材	材質	表面処理
①柱	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
②梁	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
③側枠	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜 オレフィン系樹脂　化粧シート貼り
④前枠	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑤後枠	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑥母屋	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑦垂木	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜

H：高さ（G.L～梁下端）
Ｌｔ：奥行（単体＋連結部）
L：奥行（単体）
Ｌｊ：奥行（連結部）
D：間口
D1：柱芯～屋根端部
H1：G.L～屋根下端
H2：G.L～梁下
H3：G.L～屋根上端
L1、5：柱芯～屋根端部
L2～4：柱芯々
L6、7：車止めバー
L8～11：補助柱芯々
P:垂木ピッチ
a1、2：基礎（間口方向）
b1、2：基礎（奥行方向）

※本図はエフルージュFIRST Z ミニ 750タイプ J29・29-21を示す

変更記事	設計監理	殿	工事名	照査	担当	作図	尺度	御承認印	図番
	施工	殿	図面内容 サイクルポート エフルージュ FIRST Z ミニ 750タイプ 奥行連結セッ 車止めバー納まり図					年 月 日	通し図番

YKK ap ® 施工-A 1